



2008.5/23 (金)

7:00pm開演 (6:30pm開場)

杜のホールはしもと 多目的室

橋本駅 (JR横浜線・相模線、京王相模原線) 北口すぐ ミウイ橋本8F

全席自由3,000円 (当日3,500円)

※6歳以上のお客様よりご入場いただけます ※当日券は売切の場合ございません

橋本 子 Ub-X

橋本一子 (P, Vo)
井野信義 (B)
藤本敦夫 (Ds, Vo)

橋本一子 Ub-X

1980年代のYMOへのゲスト参加をはじめ、多様なアーティストとの共演やオーケストラ、CMの作曲等多岐にわたって活躍する橋本一子、世界的に名声を築く井野信義、伝説のマルチアーティスト藤本敦夫の3人からなるUb-Xの音楽は海外でも高い評価を受け、さらに進化し続けている。
ソロとバックিংというジャズの枠組みを超えた、3人対等の、フリーフォームではない即興演奏に、至る所に同時に表出する現代的なソングの良さ、心地よい質感を追求している。
また、楽器の音色と人間の声とがスリリングに混ざり合い、幻想的な浮遊感をもって溶け出す時間を作り出している。

Ub-X=ユビークスUbiquex (Ubique=神などの遍在の意的ラテン語、にXをつけた造語)の短縮形。

1997年12月の実験的セッションを機に橋本一子トリオの名で活動を始める。
1999年12月、アルバム「Miles Away」(徳間ジャパン)をリリース。
2001年4月、アルバム「Miles Blend」(徳間ジャパン)をリリース。

その後新たな音楽作りを目指して試行錯誤する中、新しいやり方に到達し、
2005年10月から

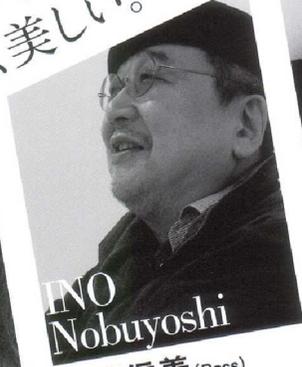
レコーディングに入る。これを機にユニット名を「Ub-X」として活動。
2006年3月、アルバム「Ub-X」(ewe)をリリース。
このアルバムは「Jazzチャーター1位、W-Jazzチャート10位を記録する。同年5月にドイツツアー、12月には国内ツアーと活動の場を拡げる。
2007年4月、Ub-Xとしての2枚目のアルバム「Vega」(ewe)をリリース。
2007年9月8日、六本木スノーパーデラックスにて現在の日本ジャズシーンきっての人気サクソフレイヤー菊地成孔をゲストに向かえたコンサート「Jazz Today 2007 Special Live Ub-X meets 菊地成孔」を行う。
このライブ音源が10月末よりインターネットラジオ「[[Jazz.Net]」で配信され、シングルチャートでいきなり1位2位を独占。以後好評配信中。

疾走するポリグルーヴ、きらめくヴォイス、深く響き合うサウンド。
眩暈がするほど新しく美しい。



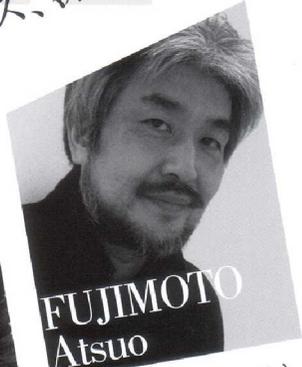
HASHIMOTO Ichiko

橋本一子 (Piano, Vo)
神戸生まれ。武蔵野音楽大学卒業。在学時より音楽活動を開始。
1980〜YMOへのゲスト参加をはじめ、高橋悠治、高橋アキ、渡辺香津美、山下洋輔、サムエルンリ、手塚真など多彩なアーティストと共演。また、ベルリンジャズフェスティバル、NY「スウィートベジブル」への出演など、ヨーロッパ、アメリカなど海外での演奏も高い評価を受けている。



INO Nobuyoshi

井野信義 (Bass)
高校時代よりコントラバスのクラシックレッスンを受ける傍らR&Bバンドでプロとして活動開始。日本のジャズシーンで最も重要なベーシストとして、日本のほとんど全てのミュージシャンと演奏、レコーディングを重ねる一方、エルヴィン・ジョーンズ、レスター・ホーイ、高瀬アキなど海外の多くのミュージシャンに信頼されるベーシストとして、高く評価されている。



FUJIMOTO Atsuo

藤本敦夫 (Drums, Vo)
ギター、ピアノ、ベース、ドラムス、ヴォーカル、サクソ、作曲曲を自在に操り、渡辺香津美、山下洋輔、YMO、Tipographica 他、多くのアーティストに招かれコラボレーション及びレコーディングを行う。
1992年ごろからドラムを中心にその活動を絞り、ポリグルーヴに到達。本ユニットのリズムの屋台骨を支えている。

杜のホールはしもと 多目的室

橋本駅 (JR横浜線・相模線、京王相模原線)
(新宿より最速39分) 北口すぐ ミウイ橋本8F

●お問合せ
杜のホールはしもと
神奈川県相模原市橋本3-28-1 ミウイ橋本内 TEL 042-775-3811
※お車でお越しの方は、隣接の市営第2立体駐車場をご利用ください。(駐車料金:30分150円)



2/22(金)発売開始

【チケットのお求め】

- チケットMove 042-742-9999
- 電子チケットぴあ 0570-02-9999 (コード 283-343)
- ローソンチケット 0570-000-777 (コード 71985)
- イープラス http://eplus.jp

主催: 相模原市民文化財団
http://www.hall-net.or.jp